

年月日

18

11

02

ページ

12

NO.

PART6
16

インシデュアテックがもたらす保険の変革

国際社会経済研究所
(NECグループ)主幹研究員

大平 公一郎



前回は保険業界での人工知能(AI)の利用や販売チャネルの変化を取り上げたが、IoT(モノのインターネット)の活用も大きな注目を集めている。保険会社にとって、IoTを活用する保険金の支払いは費用であり、支払い義務が生じる保険事故を減ら

前者にメリット

国では自動車に装着した専用端末で走行データを収集し保険料に反映させる自動車保険が、多くの保険会社から提供されている。今後は、車載カメラなどを使って危険を察知

事故の減少や長寿・健

康の達成は望ましく、し、契約者に知らせて両者のメリットは合致

する。保険の契約者にも車載カメラなどを

事故を防ぐことが強化

されている。この保険事

故を減らす手段として、IoTを活用する

住宅向けでは、英国

反映させることも進ん

る。保険会社にとって、

生命保険や医療保険に

新しいビジネスモデ

ルとしては、利用者同

スポート、レジャー、

オンデマンド

が進められている。

インシデュアテックの

広がりには、テクノロ

ジーを熟知し効率性を

高めたサービスを提供

できるスタートアップ

(金曜日に掲載)

のNeosが建物・家財に対する保険と、各種センサー、監視・システムサービスを組み合わせて提供している。提供されるセンサーは、漏水センサー、煙センサーなどで、火災や漏

水、盗難などを検知す

ることができる。

いが、取得できる身体

障害時などに保険金

を受け取れるP2P保

険があり、米国のLeonard

monadeが提供す

るにつれ、多様な保険

商品の開発が行われる

とみられる。

このように多様なブ

レーヤーが参加し、イ

ンシデュアテックの進化

がさらに進むだろう。

レーヤーが参加し、イ

ロイズ本社ではロイズ
ラボの設置を予定

企業の役割が重要で、既存の保険会社との協業も積極的に模索され

ている。例えば、英國

で再保険を手がけるL

LOYD'S(ロイズ)

も注目されている。ス

は、本社ビル内にスタ

ートアップ企業が入居

できるアクセラレー

トアッパボを準

備している。



IoT使い事故減らす